

環境推進総括責任者 ごあいさつ



東北電力株式会社
環境推進総括責任者
常務取締役 三浦 政彦

地域との絆を深め、地域の復興・発展に貢献しながら、お客さまから選択され、地域とともに成長する企業グループを目指してまいります。

当社は、2011年の東日本大震災および新潟・福島豪雨以降、被災した電力供給設備の早期復旧を最優先課題として全力で取り組み、2013年度中にほぼ復旧を果たすことができました。一方で、被災設備の復旧を最優先として対応にあたってきた影響、さらには原子力発電所の停止による火力燃料費の大幅な増加などにより、財務体質が著しく悪化していることに加え、設備の経年化が進むなど、経営基盤が脆弱化しております。このため、2013年9月には電気料金の値上げをお願いするに至り、大変申し訳なく存じております。当社といたしましては、来るべき本格的な競争時代においても、新たな競争環境に柔軟に適応しつつ、引き続き電力の安定供給を通じて地域の復興・発展に貢献しながら、お客さまから選択され、地域とともに成長する企業グループを目指してまいります。

企業グループが一体となった環境経営を通じて、未来の子どもたちが安心して暮らせる持続可能な社会を目指してまいります。

当社は、「地域社会との共栄」、「創造的経営の推進」という経営理念のもと、環境保全を経営の重要課題のひとつと位置付け、「東北電力グループ環境方針」に基づき、地域とともに環境への取り組みを進めております。環境への取り組みは、事業基盤を支え社会的責任を果たす観点から、その重要性に変わりはないとの認識のもと、今後も企業グループが一体となった環境経営を推進し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

なお、火力燃料の消費が増加したことなどによりCO₂排出量が増加しておりますが、当社は、火力発電の熱効率維持・向上、再生可能エネルギーの利用拡大、さらにはお客さまの省エネ・省CO₂の取り組み支援など、引き続き、電力の需給両面でのCO₂排出削減に着実に取り組んでまいります。また、当社は、低炭素社会の実現において原子力発電は重要な電源であると考え、原子力発電所のさらなる安全レベルの向上にハード・ソフトの両面から継続的に取り組んでまいります。

2014年9月